



育てた米で餅つき

児童が育てたもち米で餅をつき、地域住民や保護者に振る舞う「わくわくフェニックス新年会」が14日、中島5の表町小学校で開かれた。写真Ⅱ。2年生24人が餅つきに奮闘した。

岡 長

表町小2年生は、生活の学習で地域住民などの協力を得て学校田でもち米を育ててきた。昨年は約18キロが収穫され、お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝えようと「新年会」が企画された。

児童は二つの臼を囲んで大人と協力しながら、「よいしょ」の掛け声で代わる代わるきねを振るった。大高愛梨さん(8)は「自分たちで作ったもち米の餅で、お世話になった人に喜んでもらいたい」と話していた。